

SCREEN



SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージ

Ver. 5.00

ユーザーズマニュアル

AVANAS



目次

第1章	SCREEN MultiStudioドライバパッケージ Ver. 5.00の新機能	1-1
	JPEG、PNGへの対応	1-2
第2章	SCREEN MultiStudioドライバ	2-1
	SCREEN MultiStudioドライバNT 4.0/2000/XP用	2-2
	SCREEN MultiStudioドライバ98/Me	2-8
	プリンタファイルの出力	2-11
第3章	SCREEN_MultiStudio_Print 5.00	3-1
	SCREEN_MultiStudio_Print 5.00の起動と終了	3-2
	SCREEN_MultiStudio_Print 5.00ウインドウ	3-3
	プリンタファイルの状態の種類	3-3
	SCREEN_MultiStudio_Print 5.00の環境設定	3-4
	印刷プリンタの設定	3-6
	プリンタファイルの登録	3-7
	プリンタファイルの印刷	3-8
	登録されているプリンタファイルの編集	3-8
	プリンタファイルの表示	3-9

第4章	SCREEN_MultiStudio_Viewer 5.00	4-1
	SCREEN_MultiStudio_Viewer 5.00の基本操作	4-2
	SCREEN_MultiStudio_Viewer 5.00ウインドウ	4-3
	SCREEN_MultiStudio_Viewer 5.00の環境設定	4-4
	プリンタファイルの読み込み	4-5
	プリンタファイルの更新読み込み	4-6
	プリンタファイルの印刷	4-7
	プリンタファイルの印刷	4-7
	プリンタファイルのプレビュー表示	4-7
	表示方法の指定	4-9
	ツールバーまたはステータスバーの表示設定	4-9
	画像の表示状態の指定	4-9
	表示位置の指定	4-10
	ファイル情報の表示	4-11
	使用フォントの表示	4-12
	ウインドウ操作	4-12
第5章	SCREEN_MultiStudio_Compress 5.00	5-1
	SCREEN_MultiStudio_Compress 5.00の基本操作	5-2
	SCREEN_MultiStudio_Compress 5.00ウインドウ	5-4
	SCREEN_MultiStudio_Compress 5.00の環境設定	5-4
	プリンタファイルを圧縮または解凍する	5-6
第6章	SCREEN MultiStudio用紙設定	6-1
	SCREEN MultiStudio用紙設定の基本操作	6-2
	使用する用紙の登録と解除	6-5
	カスタム用紙の登録と削除	6-5
	カスタム用紙情報のバックアップとリストア	6-6
	Windows NT 4.0/2000/XP用の操作上の注意点	6-7
	ユーザー権限と可能な操作	6-7
	デフォルト用紙	6-7

マニュアルの表記規則

このマニュアルは、次の表記規則に従って記述されています。

■メニュー、コマンド、ダイアログボックスの表記

表記	説明
[ファイル]メニュー	メニュー名は、[]で囲んで表記します。
[ファイル]-[開く]コマンド	コマンド名は、そのコマンドが含まれているメニューの名前を付けて、[]で囲んで表記します。
〈開く〉ダイアログボックス	ダイアログボックス名は、そのダイアログボックスのタイトルバーに表示されている名前を〈 〉で囲んで表記します。
〈OK〉ボタン 〈ヘルプ〉ボタン	ダイアログボックス内のコマンドボタンやツールバーのボタン名は、〈 〉で囲んで表記します。

■マウス操作の表記

表記	説明
クリック	マウスのボタンを押して、すぐに離すことです。
ダブルクリック	マウスのボタンをすばやく2回クリックすることです。
ドラッグ	マウスのボタンを押したままマウスを移動し、目的の位置でボタンを離すことです。

第 1 章

SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージ Ver. 5.00 の新機能

SCREEN MultiStudio ドライバーパッケージ Ver. 5.00 のリリースに伴い、Ver. 4.10 から追加・変更された機能の概要を説明します。

この章の内容

JPEG、PNG への対応 1-2

JPEG、PNG への対応

SCREEN MultiStudio Ver.5.00からは、MS Office上のJPEGおよびPNG画像をそのまま出力できるようになりました。

JPEG画像の場合、AVANAS MultiStudioのWindowsデータ取り込みでは、外部のJEPGファイルとしてドキュメントに設定します。

PNG画像の場合、AVANAS MultiStudioのWindowsデータ取り込みでは、インクルード画像としてドキュメントに設定します。

メモ

- ・ Windows NT4.0上のSCREEN MultiStudioドライバー Ver.5.00は、JPEG/PNGフォーマットの画像として出力できません。
- ・ SCREEN MultiStudioドライバーパッケージ Ver.5.00は、MultiStudioドライバー Ver.5.00/4.10/3.02/3.00を共存してインストールすることが可能です。
書では、Windows 2000がセットアップされたマシンにSCREEN MultiStudioドライバーパッケージ Ver.5.00がインストールされている場合を例に説明しています。

第 2 章

SCREEN MultiStudio ドライバー

SCREEN MultiStudioドライバーは、Windowsアプリケーションで作成したデータを、AVANAS MultiStudio Officeオプション機能で読み込み可能な中間ファイルとして、プリンタファイルを出力するプリンタドライバーです。プリンタドライバーは、使用するマシンのOSごとに、以下の2種類が用意されています。

- ・ WindowsNT 4.0/2000/XP
- ・ Windows98/Me

出力されたプリンタファイルは、AVANAS MultiStudio Officeオプション機能で読み込み、編集できるほか、SCREEN MultiStudio Viewerを使用してモニタに表示する、SCREEN MultiStudio Printを使用してプリンタで印刷するなどの処理が可能になります。さらにSCREEN MultiStudio Compressを使用すれば、プリンタファイルの圧縮にも対応可能です。

メモ

以降では、WindowsNT 4.0/2000/XPを「NT 4.0/2000/XP」、Windows98/Meを「98/Me」と表記することがあります。

この章の内容

SCREEN MultiStudio	SCREEN MultiStudio
ドライバーNT 4.0/2000/XP用 2-2	ドライバー98/Me 2-8
	プリンタファイルの出力 2-11

SCREEN MultiStudio ドライバー NT 4.0/2000/XP 用

SCREEN MultiStudio ドライバー NT 4.0/2000/XP 用の設定を変更します。

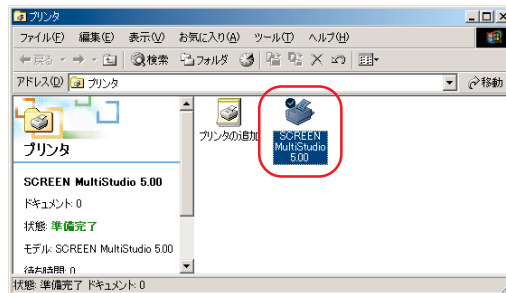
以降の手順では、NT 4.0/2000/XP とで操作方法が異なる設定画面についてのみ、それぞれに説明しています。



設定を変更するには

以下の6～9の手順は、設定する順序に決まりはありません。また、必要な項目だけを設定してください。

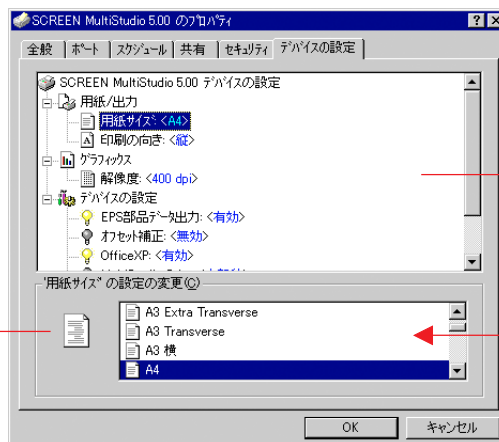
1. 起動しているすべてのアプリケーションを終了します。
2. [スタート]メニューから[設定]-[プリンタ](Windows XPの場合は[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX])コマンドを選択します。
3. <プリンタ>ウインドウからSCREEN MultiStudio 5.00を選択します。



4. [ファイル]メニューから[プロパティ]コマンドを選択します。
<SCREEN MultiStudio 5.00のプロパティ>ダイアログボックスが表示されます。
5. <デバイスの設定>タブを選択します。

・NT4.0用

項目の青い文字は、前回保存した設定値を示します。設定を変更すると、赤い文字に変わります。



クリックすると選択可能な設定値が表示されます。

上のエリアでクリックした項目に対応して、下のエリアには選択可能な設定値が表示されます。

設定を変更した項目は、親メニューの単位で一括して設定値をデフォルトに戻せます。設定した項目を含む親メニューをクリックすると、ダイアログボックス下側に〈変更したオプションを元に戻す〉が表示されます。〈変更したオプションを元に戻す〉をクリックすると、選択している親メニュー内の全項目の設定値が、デフォルトに戻ります。

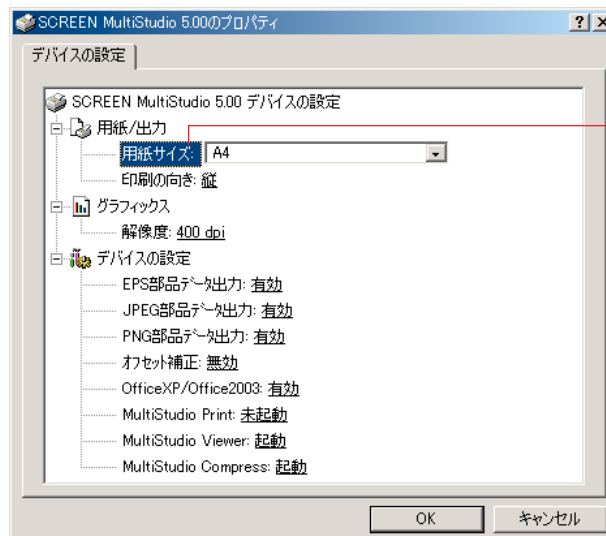


クリックした親メニューに設定を変更した項目がない場合は、〈変更したオプションを元に戻す〉は表示されません。

・ 2000/XP用

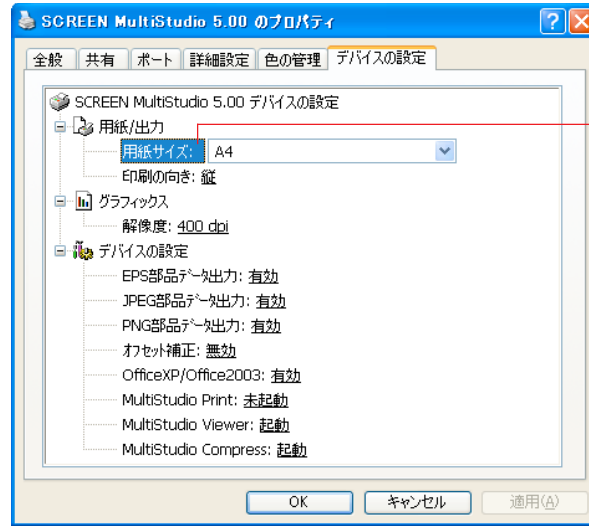
通常の太さの文字は、前回保存した設定値を示します。設定を変更すると、ボールド体の文字に変わります。

2000用



クリックすると、項目の右側に設定値を選択するボックスが表示されます。

XP用

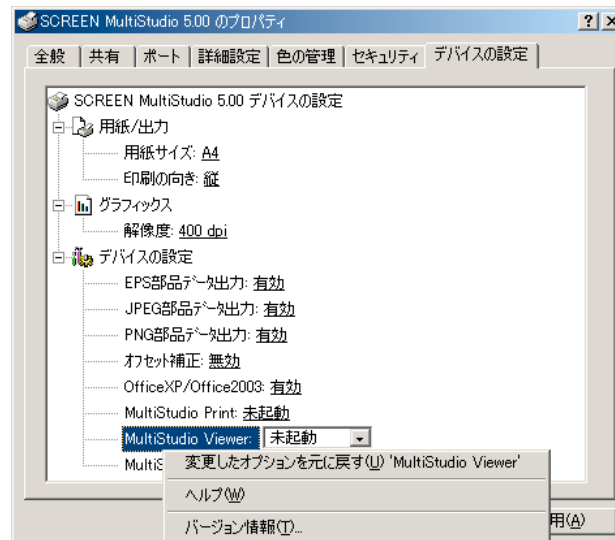


クリックすると、項目の右側に設定値を選択するボックスが表示されます。

設定を変更した項目は、右クリックして表示されるポップアップメニューで、設定値をデフォルトに戻せます。

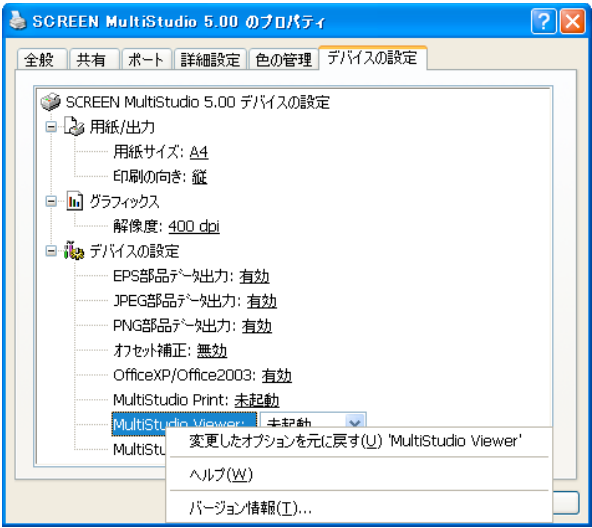
設定した項目を右クリックすると、ポップアップメニューに「変更したオプションを元に戻す」が表示されます。「変更したオプションを元に戻す」を選択すると、設定値がデフォルトに戻ります。

2000用



クリックした項目の設定を変更していない場合は、「変更したオプションを元に戻す」は表示されません。

XP用



6. 〈SCREEN MultiStudio 5.00デバイスの設定〉を設定します。

オプション	説明
変更したオプションを元に戻す	クリックすると、変更した設定を前回保存した設定値に戻します。前回保存した設定値のまま何も変更していない場合は、ボタンは表示されません。
SCREEN MultiStudioのバージョン情報	クリックすると、〈Version〉ダイアログボックスを表示します。



7. <用紙／出力>を設定します。

オプション	説明
用紙サイズ	出力する用紙サイズを選択します。 アプリケーション側に用紙サイズの設定項目がある場合は、アプリケーション側の設定内容が優先されます。 アプリケーション側に用紙サイズの設定項目が無い場合は、SCREEN MultiStudioドライバーNT 4.0/2000/XP用の設定内容を使用します。
印刷の向き	出力する用紙の方向を選択します。 アプリケーション側に印刷の向き(用紙方向)の設定項目がある場合は、アプリケーション側の設定内容が優先されます。 アプリケーション側に印刷の向き(用紙方向)の設定項目が無い場合は、SCREEN MultiStudioドライバーNT 4.0/2000/XP用の設定内容を使用します。

8. <グラフィックス>を設定します。

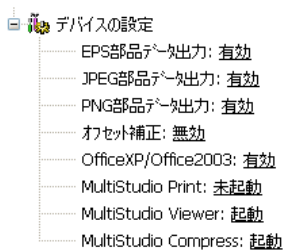
オプション	説明
解像度	出力解像度を25～2000dpiの範囲で入力します。

9. <デバイスの設定>を設定します。以下の6項目について設定できます。

・ NT4.0用



・ 2000/XP用



オプション	説明
EPS部品データ出力	QuarkXPressから出力する場合に限り〈無効〉を、それ以外のアプリケーションから出力する場合は常に〈有効〉を選択します。
JPEG部品データ出力	常に〈有効〉を選択します。〈無効〉を選択すると、旧バージョンと同様の出力結果になります。
PNG部品データ出力	常に〈有効〉を選択します。〈無効〉を選択すると、旧バージョンと同様の出力結果になります。
オフセット補正	PageMakerからA4以外の用紙に出力する場合に限り〈有効〉を、それ以外のアプリケーションから出力する場合は常に〈無効〉を選択します。
OfficeXP/Office2003	常に〈有効〉を選択します。〈無効〉を選択すると、Microsoft Office XPおよびMicrosoft Office 2003からのプリンタファイルを正常に出力できません。
MultiStudio Print	〈起動〉を選択すると、プリンタファイルの出力完了後にMultiStudio Printが起動し、MultiStudio Printにプリンタファイルが登録されます。MultiStudio Printの詳細は、「第3章 SCREEN_MultiStudio_Print 5.00」を参照してください。
MultiStudio Viewer	〈起動〉を選択すると、プリンタファイルの出力完了後にMultiStudio Viewerが起動し、出力したファイルを表示します。MultiStudio Viewerの詳細は、「第4章 SCREEN_MultiStudio_Viewer 5.00」を参照してください。
MultiStudio Compress	〈起動〉を選択すると、プリンタファイルの出力時にMultiStudio Compressが起動し、圧縮されたプリンタファイルが出力されます。MultiStudio Compressの詳細は、「第5章 SCREEN_MultiStudio_Compress 5.00」を参照してください。

10.〈OK〉をクリックします。

注 意

アプリケーションを起動したまま設定を変更すると、変更内容が出力結果に反映されない場合があります。アプリケーションから変更できない設定項目は、いったんアプリケーションを終了してから変更してください。

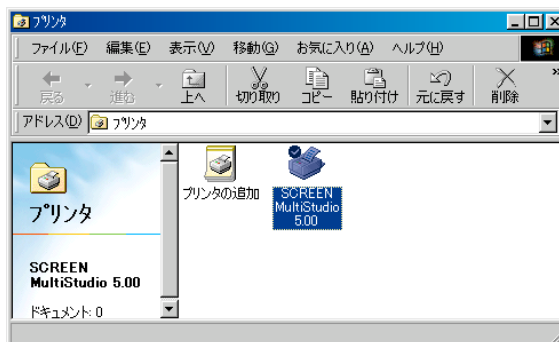
SCREEN MultiStudio ドライバー 98/Me

SCREEN MultiStudio ドライバー 98/Me の設定を変更します。
98/Me の設定ダイアログボックスは共通です。



設定を変更するには

1. 起動しているすべてのアプリケーションを終了します。
2. [スタート]メニューから[設定]-[プリンタ](Windows XPの場合は[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX])コマンドを選択します。
3. <プリンタ>ウインドウからSCREEN MultiStudio 5.00を選択します。



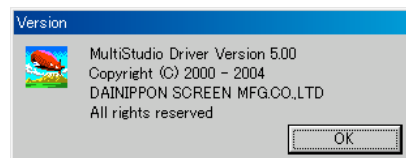
4. [ファイル]メニューから[プロパティ]コマンドを選択します。
<SCREEN MultiStudio 5.00のプロパティ>ダイアログボックスが表示されます。
5. <オプション>を選択します。



6. 次のうち、必要な項目を設定します。

オプション	説明
用紙サイズ	出力する用紙サイズを選択します。 アプリケーション側に用紙サイズの設定項目がある場合は、アプリケーション側の設定内容が優先されます。 アプリケーション側に用紙サイズの設定項目が無い場合は、SCREEN MultiStudio ドライバーの設定内容を使用します。
解像度	出力解像度を25～2000dpiの範囲で入力します。
印刷の向き	出力する用紙の方向を選択します。 アプリケーション側に印刷の向き(用紙方向)の設定項目がある場合は、アプリケーション側の設定内容が優先されます。 アプリケーション側に印刷の向き(用紙方向)の設定項目が無い場合は、SCREEN MultiStudio ドライバーの設定内容を使用します。
EPS部品データ出力	QuarkXPressから出力する場合に限りチェックをはずします。それ以外のアプリケーションから出力する場合は常にチェックします。
JPEG部品データ出力	常にチェックします。チェックをはずすと、旧バージョンと同様の出力結果になります。
PNG部品データ出力	常にチェックします。チェックをはずすと、旧バージョンと同様の出力結果になります。
オフセット補正	PageMakerからA4以外の用紙に出力する場合に限りチェックします。それ以外のアプリケーションから出力する場合は常にチェックをはずします。
絵柄簡易出力	チェックすると、出力したプリンタファイルのサイズが異常に大きい場合、粗画像で出力します。通常はチェックをはずしておくことを推奨します。
OfficeXP	常にチェックします。チェックをはずすと、Microsoft Office XPからのプリンタファイルを正常に出力できません。
MultiStudio Print起動	チェックすると、プリンタファイルの出力完了後にMultiStudio Printが起動し、MultiStudio Printにプリンタファイルが登録されます。MultiStudio Printの詳細は、「第3章 SCREEN_MultiStudio_Print 5.00」を参照してください。
MultiStudio Viewer起動	チェックすると、プリンタファイルの出力完了後にMultiStudio Viewerが起動し、出力したファイルを表示します。MultiStudio Viewerの詳細は、「第4章 SCREEN_MultiStudio_Viewer 5.00」を参照してください。
MultiStudio Compress起動	チェックすると、プリンタファイルの出力時にMultiStudio Compressが起動し、圧縮されたプリンタファイルが出力されます。MultiStudio Compressの詳細は、「第5章 SCREEN_MultiStudio_Compress 5.00」を参照してください。
変更を戻す	クリックすると、変更した設定をデフォルトの設定値に戻します。

オプション	説明
バージョン情報	クリックすると、〈Version〉ダイアログボックスを表示します。



7. 〈OK〉をクリックします。

注 意

アプリケーションを起動したまま設定を変更すると、変更内容が出力結果に反映されない場合があります。アプリケーションから変更できない設定項目は、いったんアプリケーションを終了してから変更してください。

プリンタファイルの出力

SCREEN MultiStudioドライバーを使用して、Windowsデータをプリンタファイルとして出力します。

ここでは、以下の条件で説明しています。

- ・使用ドライバーのバージョン：SCREEN MultiStudioドライバー Ver. 5.00
- ・マシンのOS：Windows 2000
- ・出力ファイル：Word 2000



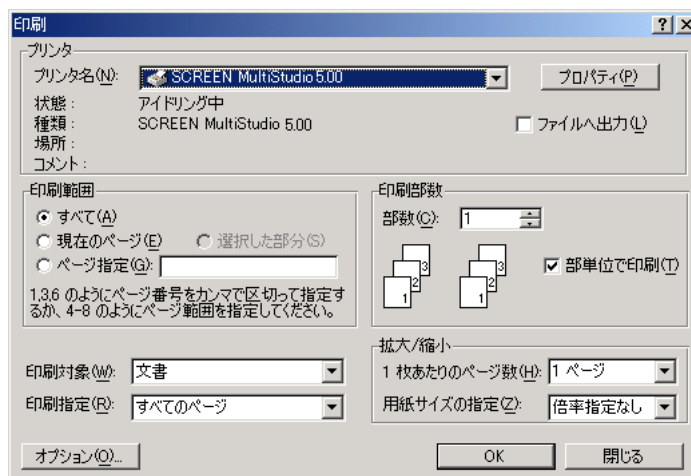
プリンタファイルを出力するには

1. 出力するWindowsデータを開き、[印刷]メニューを選択します。
〈印刷〉ダイアログボックスが表示されます。
2. 〈プリンタ名〉からSCREEN MultiStudioドライバーを選択します。

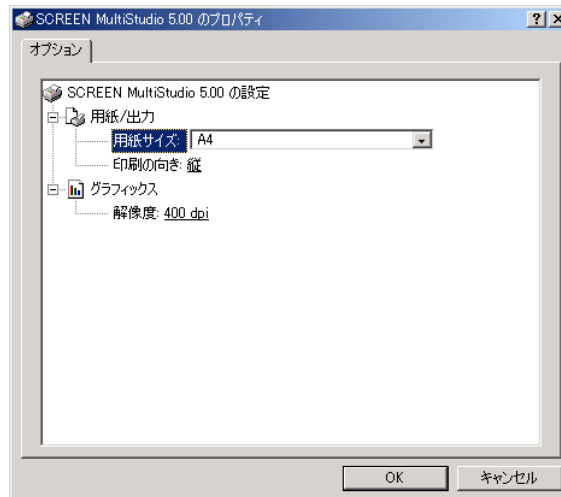


Ver.5.00のSCREEN MultiStudioドライバーパッケージをインストールした場合、Ver.5.00/4.10/3.02/3.00の4つのバージョンのMultiStudioドライバーをインストールしておくことができます。

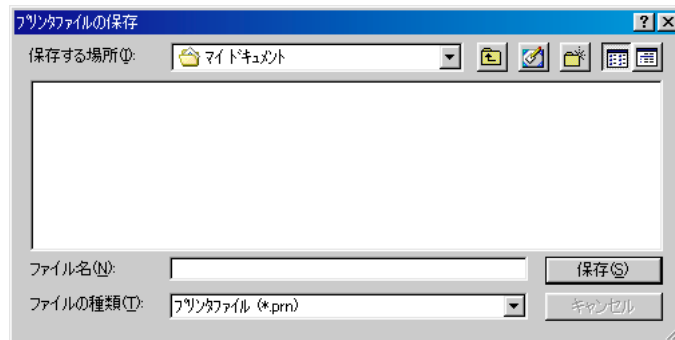
プリンタファイルの出力時には、出力するMultiStudioドライバーのバージョンを確認してください。



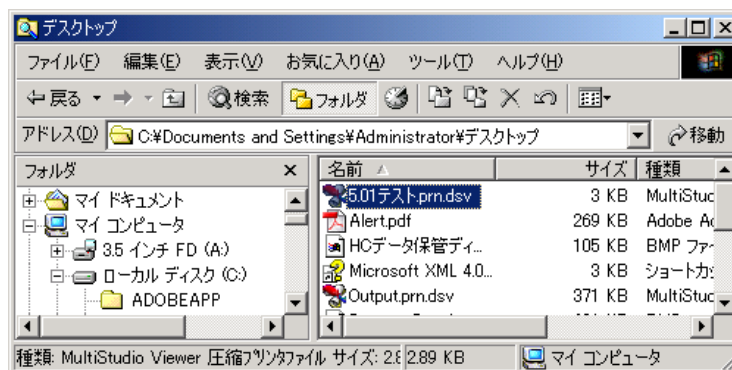
3. 必要であれば〈プロパティ〉をクリックし、プリンタプロパティを変更します。ここで変更できるのは、〈用紙サイズ〉〈解像度〉〈印刷の向き〉です。これら以外は変更できません。WindowsNT 4.0/2000/XP用、Windows98/Me用とも変更できる項目は同じです。



4. 〈OK〉をクリックします。
〈プリンタファイルの保存〉ダイアログボックスが表示されます。



5. プリントファイルのファイル名および保存先を指定し、〈OK〉をクリックします。
 プリントファイルの出力が始まります。出力の状況は、MultiStudioドライバーのプロパティ設定条件に応じて変わります。プロパティの設定条件については、「第2章 SCREEN MultiStudio ドライバー」を参照してください。
 プリントファイルの拡張子は、「.prn」です。MultiStudioドライバーのプロパティで、〈MultiStudio Compress起動〉をONに設定している場合は、さらに「.dsv」の拡張子が追加されます。


注意

SCREEN MultiStudioドライバーからのプリントファイル出力は、途中でキャンセルできません。

第 3 章

SCREEN_MultiStudio_Print 5.00

SCREEN_MultiStudio_Print 5.00は、SCREEN MultiStudioドライバーを使用して出力されたプリンタファイルを印刷します。またSCREEN_MultiStudio_Print 5.00のウィンドウを開くと、出力待ちジョブのモニタリングや編集が行えます。

この章の内容

SCREEN_MultiStudio_Print 5.00の起動と終了 ..	3-2	プリンタファイルの登録	3-7
SCREEN_MultiStudio_Print 5.00ウィンドウ	3-3	プリンタファイルの印刷	3-8
プリンタファイルの状態の種類	3-3	登録されているプリンタファイルの編集	3-8
SCREEN_MultiStudio_Print 5.00の環境設定	3-4	プリンタファイルの表示	3-9
印刷プリンタの設定	3-6		

SCREEN_MultiStudio_Print 5.00 の起動と終了



SCREEN_MultiStudio_Print 5.00を起動するには

- [スタート]メニューから[プログラム](Windows XPの場合は[すべてのプログラム])-
[SCREEN MultiStudio 5.00]-[Print]の順に選択します。
〈SCREEN_MultiStudio_Print 5.00〉ウインドウが表示されます。



SCREEN_MultiStudio_Print 5.00を終了するには

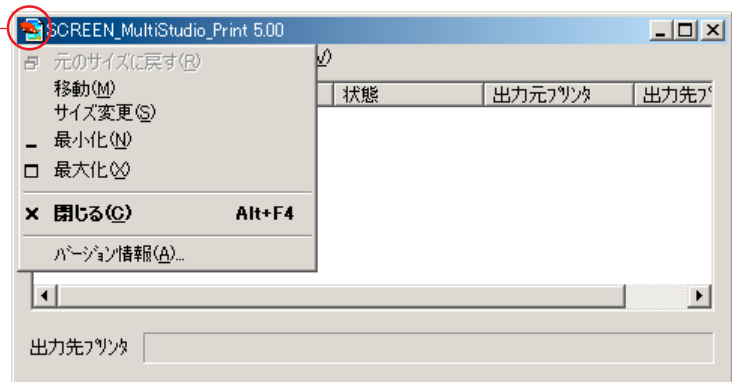
- [ファイル]-[終了]コマンドを選択します。



SCREEN_MultiStudio_Print 5.00のバージョンを表示するには

1. SCREEN_MultiStudio_Print 5.00を起動します。
〈SCREEN_MultiStudio_Print 5.00〉ウインドウが表示されます。
2. ウインドウアイコンをクリックし、[バージョン情報]を選択します。
〈SCREEN MultiStudio Printのバージョン情報〉ダイアログボックスが表示されます。

クリックする



3. 〈OK〉をクリックします。

SCREEN_MultiStudio_Print 5.00 ウィンドウ

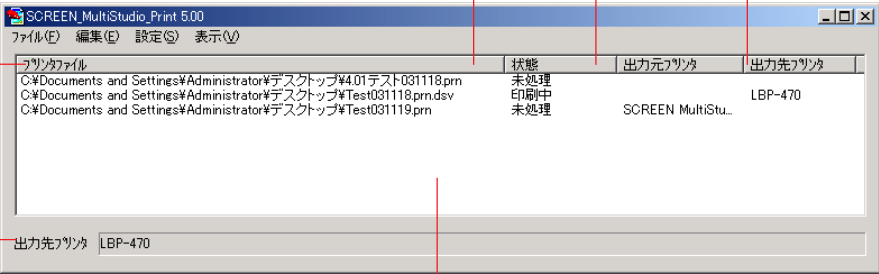
〈SCREEN_MultiStudio_Print 5.00〉ウィンドウの各部の名称と役割を以下に示します。
〈SCREEN_MultiStudio_Print 5.00〉ウィンドウでは、プリンタファイルの登録情報を表示します。起動直後は、プリンタファイルは何も登録されていません。
SCREEN_MultiStudio_Print 5.00にプリンタファイルが登録された状態でSCREEN_MultiStudio_Print 5.00を終了すると、登録情報は残りません。

プリンタファイルを出力したプリンタ名を表示します。プリンタ名が表示されるのは、SCREEN MultiStudioドライバーのプロパティで「MultiStudio Printの起動」がONの設定になっている場合のみです。保存されているプリンタファイルをSCREEN_MultiStudio_Print 5.00に登録した場合、プリンタ名は表示されません。プリンタファイルを印刷したプリンタ名を表示します。

プリンタファイルに対して行った処理の状態を表示します。

登録されているプリンタファイル名を表示します。

設定されている印刷用プリンタ名を表示します。
[設定]-[プリンタ設定]コマンドを選択し、表示される〈プリンタ設定〉ダイアログボックスでプリンタを変更できます。



プリンタファイルの登録情報を表示します。

プリンタファイルの状態の種類

表示	状態
未処理	登録されただけで、何も処理が行われていません。
印刷待ち	印刷指示が*出され、印刷待ちの状態です。
印刷中	印刷中です。
印刷済み	印刷が終了しました。

SCREEN_MultiStudio_Print 5.00 の環境設定

SCREEN_MultiStudio_Print 5.00の環境を設定します。



SCREEN_MultiStudio_Print 5.00の環境を設定するには

1. [設定]-[設定]コマンドを選択します。
〈設定〉ダイアログボックスが表示されます。

設定

☐ MultiStudioドライバーより出力後、すぐに印刷する。

☒ 印刷後、情報を削除する。

☐ ダイアログボックスの制御を自動で行う。

印刷設定

☒ 最適な用紙で出力する。

☐ 文字をアウトラインで出力する。

テンプレートフォルダ

C:\DOCUMENT1\ADMINI1\LOCALS1\

参照

OK

キャンセル

2. 次のうち、必要な項目を設定します。

オプション	説明
MultiStudioドライバーより 出力後、すぐに印刷する	<p>チェックすると、SCREEN MultiStudioドライバーからプリンタファイルの出力が完了すると、すぐに印刷を始めます。印刷完了後は、プリンタファイルがSCREEN_MultiStudio_Print 5.00に登録された状態となります。</p> <p>SCREEN MultiStudioドライバーのプロパティで、MultiStudio Printが起動するように設定されている場合に有効です。</p> <p>SCREEN MultiStudioドライバーのプロパティについては、NT 4.0/2000/XP用は第2章「SCREEN MultiStudioドライバーNT 4.0/2000/XP用」、98/Meは「SCREEN MultiStudioドライバー98/Me」を参照してください。</p>
印刷後、情報を削除する	<p>チェックすると、プリンタファイルの印刷完了後、情報が残りません。登録したプリンタファイルを繰り返し印刷する場合や、作業の履歴を残しておきたい場合は、チェックをはずします。</p>

ダイアログボックスの制御を 自動で行う	<p>チェックすると、ダイアログボックスを最小化している場合に、SCREEN MultiStudioドライバーからプリンタファイルの出力が完了すると、自動的にダイアログボックスを通常の表示状態にします。処理がすべて終了すると、再びダイアログボックスを最小化します。</p> <p>SCREEN MultiStudioドライバーのプロパティについては、NT 4.0/2000/XP用は第2章「SCREEN MultiStudioドライバーNT 4.0/2000/XP用」、98/Meは「SCREEN MultiStudioドライバー98/Me」を参照してください。</p>
印刷設定 最適な用紙で出力する	<p>チェックすると、印刷用に選択されているプリンタの用紙情報を確認し、プリンタファイルに最適な用紙サイズで印刷します。このとき、SCREEN MultiStudioドライバーから出力されたプリンタファイルの情報が優先されます。このため、印刷プリンタには用意されていない用紙サイズが設定されることがあります。チェックをはずした場合は、印刷プリンタの〈プロパティ〉で設定されている用紙サイズで印刷します。</p>
印刷設定 文字をアウトラインで出力する	<p>チェックすると、文字をアウトラインで出力します。チェックをはずすと、文字をコードで出力します。</p>
テンポラリフォルダ	<p>SCREEN_MultiStudio_Compress 5.00のファイル処理用テンポラリフォルダを設定します。デフォルトは、システムのテンポラリフォルダですが、〈参照〉をクリックして保存先フォルダを変更できます。Windows NTの場合は「C:¥TEMP」です。</p>

3. 〈OK〉をクリックします。

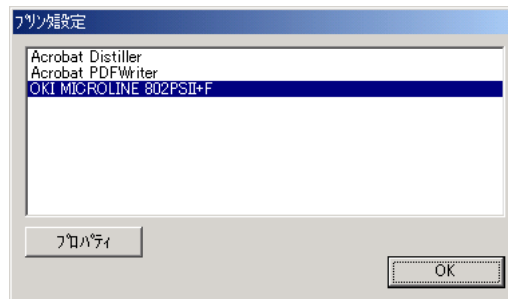
印刷プリンタの設定

SCREEN_MultiStudio_Print 5.00で使用する印刷プリンタを設定します。



印刷プリンタを設定するには

1. [設定]-[プリンタ設定]コマンドを選択します。
〈プリンタ設定〉ダイアログボックスが表示されます。



2. 使用するプリンタを選択します。
3. 〈プロパティ〉をクリックします。
選択しているプリンタの〈ドキュメントのプロパティ〉ダイアログボックスが表示されます。
ダイアログボックス内の設定については、各プリンタのマニュアルを参照してください。
4. 必要な項目を設定し、〈OK〉をクリックします。
〈プリンタ設定〉ダイアログボックスに戻ります。
5. 〈OK〉をクリックします。

プリンタファイルの登録

SCREEN_MultiStudio_Print 5.00にプリンタファイルを登録します。

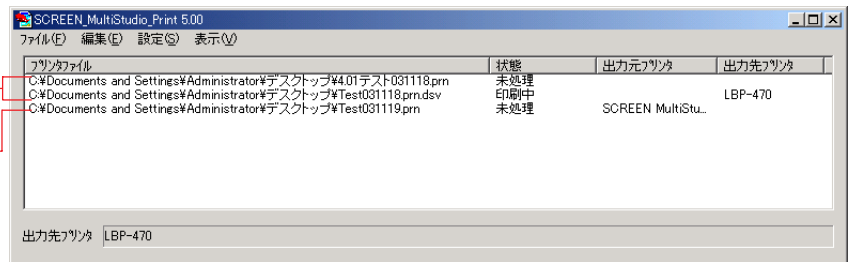


プリンタファイルを登録するには

1. [ファイル]-[開く]コマンドを選択します。
〈プリンタファイルを開く〉ダイアログボックスが表示されます。
2. 登録するプリンタファイルを選択し、〈開く〉をクリックします。プリンタファイルの拡張子は「.prm」です。MultiStudio Compressで圧縮されたプリントファイル「.dsv」も登録できます。
〈SCREEN_MultiStudio_Print 5.00〉ダイアログボックスに、プリンタファイルが登録されます。

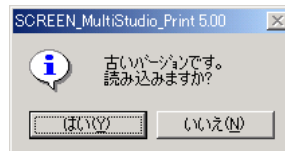
保存されていたプリンタファイルを登録すると、〈出力元プリンタ〉が空白で表示されます。

SCREEN MultiStudioドライバーから出力されたプリンタファイルがすぐに登録されると、〈出力元プリンタ〉にはプリンタ名が表示されます。



メモ

- ・登録ファイルの表示エリアに、ファイルをドラッグしても、ファイルを登録できます。
- ・古いバージョンのSCREEN MultiStudioドライバーで作成したプリンタファイルを登録すると、以下の確認メッセージが表示されます。



登録を中止する場合は〈いいえ〉を、登録を続ける場合は〈はい〉をクリックしてください。

プリンタファイルの印刷

SCREEN_MultiStudio_Print 5.00に登録されているプリンタファイルを印刷します。



プリンタファイルを印刷するには

1. 〈SCREEN_MultiStudio_Print 5.00〉ウインドウのリストから、印刷するプリンタファイルを選択します。
2. [ファイル]-[印刷]コマンドを選択します。
印刷プリンタヘデータが転送されます。印刷が完了すると、ウインドウの〈状態〉が〈印刷済み〉に、また〈出力先プリンタ〉には印刷したプリンタ名が表示されます。

注意

[ファイル]-[印刷]コマンドの選択後は、プリンタファイルがすぐに印刷プリンタへ転送されます。印刷プリンタを変更したい場合は、[ファイル]-[印刷]コマンドの選択前に、あらかじめ[設定]-[プリンタ設定]コマンドで設定を済ませておいてください。

登録されているプリンタファイルの編集

登録されているプリンタファイルを、リストから削除したり、印刷の中止を指示します。



リストからプリンタファイルを削除するには

メモ

リストからプリンタファイルを削除すると、プリンタファイルの登録が取り消されます。プリンタファイルそのものは削除されません。

1. 〈SCREEN_MultiStudio_Print 5.00〉ウインドウのリストから、削除するプリンタファイルを選択します。
2. [編集]-[情報の削除]コマンドを選択します。
ウインドウのリストから、プリンタファイルが削除されます。



印刷を中止するには

1. 〈SCREEN_MultiStudio_Print 5.00〉ウインドウのリストから、印刷を中止するプリンタファイルを選択します。
印刷を中止できるのは、〈状態〉が〈印刷待ち〉または〈印刷中〉のプリンタファイルです。
2. [編集]-[印刷の中止]コマンドを選択します。
印刷が中止され、ウインドウの〈状態〉には〈印刷済み〉と表示されます。

プリンタファイルの表示

プリンタファイルをモニタで表示します。印刷前の確認用に便利です。



プリンタファイルを表示するには

1. 〈SCREEN_MultiStudio_Print 5.00〉ウインドウのリストから、表示するプリンタファイルを選択します。
2. [表示]-[Viewer]コマンドを選択します。
SCREEN MultiStudio Viewerが起動し、プリンタファイルの読み込みが始まります。プリンタファイルの読み込み中は、〈Windowsデータ取り込み〉ダイアログボックスが表示され、読み込みの進捗度合いが%で表示されます。



起動するSCREEN MultiStudio Viewerのバージョンは、使用しているSCREEN MultiStudio Printと同じです。

3. 読み込みが完了すると、〈SCREEN_MultiStudio_Viewer 5.00〉ウインドウに、プリンタファイルがプレビュー表示されます。

第 4 章

SCREEN_MultiStudio_Viewer 5.00

SCREEN_MultiStudio_Viewer 5.00は、SCREEN MultiStudioドライバーを使用して出力されたプリンタファイルをプレビュー表示します。さらに、印刷も可能です。

この章の内容

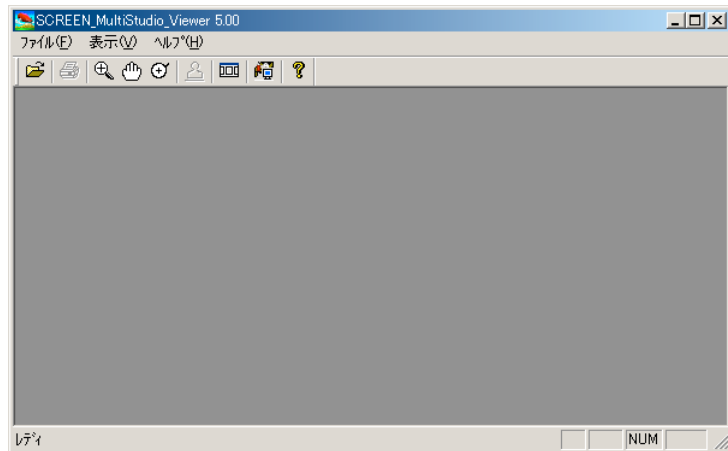
SCREEN_MultiStudio_Viewer 5.00の基本操作 ..	4-2
SCREEN_MultiStudio_Viewer 5.00ウインドウ ..	4-3
SCREEN_MultiStudio_Viewer 5.00の環境設定 ..	4-4
プリンタファイルの読み込み	4-5
プリンタファイルの更新読み込み	4-6
プリンタファイルの印刷	4-7
プリンタファイルの印刷	4-7
プリンタファイルのプレビュー表示	4-7
表示方法の指定	4-9
ツールバーまたはステータスバーの表示設定 ..	4-9
画像の表示状態の指定	4-9
表示位置の指定	4-10
ファイル情報の表示	4-11
使用フォントの表示	4-12
ウインドウ操作	4-12

SCREEN_MultiStudio_Viewer 5.00 の基本操作



SCREEN_MultiStudio_Viewer 5.00を起動するには

- [スタート]メニューから[プログラム](Windows XPの場合は[すべてのプログラム])- [SCREEN MultiStudio 5.00]-[Viewer]の順に選択します。
〈SCREEN_MultiStudio_Viewer 5.00〉ウインドウが表示されます。




SCREEN_MultiStudio_Viewer 5.00を終了するには

- [ファイル]-[終了]コマンドを選択します。



SCREEN_MultiStudio_Viewer 5.00のバージョンを表示するには

1. 次のいずれかの操作を行います。
 - [ヘルプ]-[バージョン情報]コマンドを選択します。
 - ツールバーの  をクリックします。〈SCREEN MultiStudio Viewerのバージョン情報〉ダイアログボックスが表示されます。



2. 〈OK〉をクリックします。

SCREEN_MultiStudio_Viewer 5.00 ウィンドウ

〈SCREEN_MultiStudio_Viewer 5.00〉ウィンドウの各部の名称と役割を以下に示します。

ツールボタン

頻繁に使用するコマンドを、ツールボタンとして用意してあります。左から、[開く][印刷][ズーム][スクロール][RGB値][全体表示][ページパレット表示][表示/印刷設定]の各コマンドです。

このうち[ズーム][スクロール][RGB値][ページパレット表示]は、ボタンをクリックするたびに、オンとオフが切り換わります。

オーバービューウィンドウ

ファイルを1ページずつ表示します。ウィンドウタイトルには、ファイル名が表示されています。また、ウィンドウ下部には、ファイルサイズや解像度などの情報を表示します。

ページ移動

←または→をクリックすると、前または次へページを移動します。現在の表示ページは、「n/総ページ数」のスタイルで表示します。

ページサイズ

仕上がりサイズをmmで表示します。

ファイルサイズ

仕上がりサイズをピクセル数で表示します。

解像度

解像度を表示します。解像度は、プリンタファイル出力時にSCREEN MultiStudioドライバーのプロパティで設定した値になります。

現在位置

カーソルの表示ポイントを、ピクセル数で表示します。表示画像の原点(0×0 pix)は左上です。



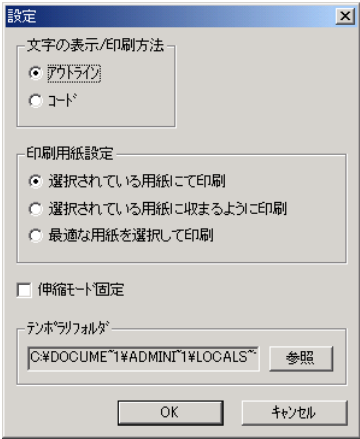
SCREEN_MultiStudio_Viewer 5.00 の環境設定

SCREEN_MultiStudio_Viewer 5.00の環境を設定します。



SCREEN_MultiStudio_Viewer 5.00の環境を設定するには

1. [表示]-[表示/印刷設定]コマンドを選択します。
〈設定〉ダイアログボックスが表示されます。



2. 次のうち、必要な項目を設定します。

オプション	説明
文字の表示/印刷方法	〈アウトライン〉を選択すると、文字をアウトラインで出力します。〈コード〉を選択すると、文字をコードで出力します。
印刷用紙設定	〈選択されている用紙にて印刷〉を選択すると、設定されている用紙サイズを使用し原寸で印刷します。画像サイズが大きいと、全体を出力できない場合があります。この場合、印刷されるのは画像の中央部分です。〈選択されている用紙に収まるように印刷〉を選択すると、設定されている用紙サイズを使用し、拡大／縮小して印刷します。 〈最適な用紙を選択して印刷〉を選択すると、プリンタに設定されている用紙のうち、最適なサイズを使用して印刷します。
伸縮モード固定	Windows2000/XP、Windows98/Meでの動作中に、絵柄やパターンに滲みが発生した場合にチェックします。
テンポラリフォルダ	SCREEN_MultiStudio_Compressで圧縮されたファイルの解凍処理用テンポラリフォルダを設定します。デフォルトは、システムのテンポラリフォルダですが、〈参照〉をクリックして保存先フォルダを変更できます。Windows NTの場合は「C:\TEMP」です。

3. 〈OK〉をクリックします。

プリンタファイルの読み込み

表示するプリンタファイルを読み込みます。



プリンタファイルを読み込むには

1. [ファイル]-[開く]コマンドを選択します。
〈プリンタファイルを開く〉ダイアログボックスが表示されます。
2. 読み込むプリンタファイルを選択し、〈開く〉をクリックします。プリンタファイルの拡張子は「.pm」です。MultiStudio Compressで圧縮されたプリンタファイル「.dsv」も登録できます。
〈Windowsデータ取り込み〉ダイアログボックスが開き、取り込みの進捗状況が表示されます。取り込みが完了すると、オーバービューウィンドウが表示され、ファイルの1ページ目が表示されます。



メモ

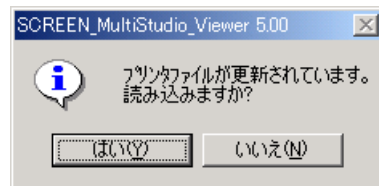
- ・古いバージョンのSCREEN MultiStudioドライバーで出力したプリンタファイルを読み込む場合、以下の確認のメッセージが表示されます。読み込みを中止する場合は〈いいえ〉を、読み込みを続ける場合は〈はい〉をクリックしてください。



- ・プリンタファイルをダブルクリックして読み込むと、SCREEN_MultiStudio_Viewer 4.10 が自動で起動し、データの読み込み後にファイルをプレビューできます。

プリンタファイルの更新読み込み

SCREEN_MultiStudio_Viewer 5.00上で表示されているプリンタファイルが更新され、再読み込みを行う場合、以下の確認メッセージが表示されます。更新されているプリンタファイルを読み込む場合は〈はい〉を、読み込まない場合は〈いいえ〉をクリックします。




プリンタファイルの印刷

読み込んだプリンタファイルを、SCREEN_MultiStudio_Viewer 5.00から印刷します。また、印刷プレビュー表示も可能です。

プリンタファイルの印刷



プリンタファイルを印刷するには

1. 次のいずれかの操作を行います。
 - [ファイル]-[印刷]コマンドを選択します。
 - ツールバーのをクリックします。

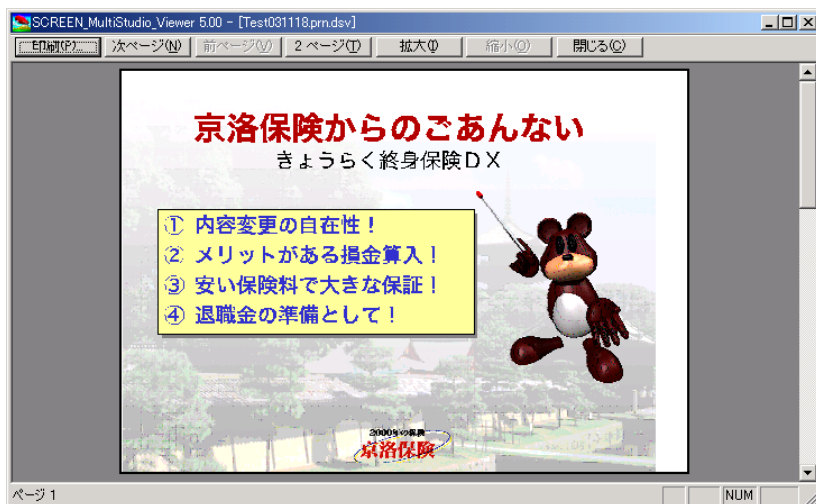
〈印刷〉ダイアログボックスが表示されます。
2. 必要な項目を設定し、〈OK〉をクリックします。

プリンタファイルのプレビュー表示



プリンタファイルをプレビュー表示するには

1. プリンタファイルを読み込んでから、[ファイル]-[印刷プレビュー]コマンドを選択します。
〈SCREEN_MultiStudio_Viewer 5.00〉ウインドウが、プレビュー表示に変わります。プレビュー表示中は、ウインドウ上部のコマンドボタンを使用して操作します。



2. 次のうち、必要な操作を行います。

印刷	クリックすると、プレビュー表示が消え、〈印刷〉ダイアログボックスが表示されます。必要な項目を設定し、〈OK〉をクリックします。
次ページ	クリックすると、次のページを表示します。
前ページ	クリックすると、前のページを表示します。
2ページ	クリックすると、縮小して2ページを表示します。コマンドボタンは〈1ページ〉に変わります。〈2ページ〉と〈1ページ〉はクリックするたびに切り替わります。
拡大	クリックすると、ページを拡大表示します。
縮小	クリックすると、ページを縮小表示します。
閉じる	クリックすると、通常表示に戻ります。

注 意

用紙サイズが適正でない場合、以下のようなプレビュー表示となります。
以下は、A4・横の設定ファイルを、A4・縦のプリンタ設定で、2ページ表示した場合です。



表示方法の指定

ツールバーやステータスバーの表示および画像の表示方法を指定します。

ツールバーまたはステータスバーの表示設定



ツールバーの表示を設定するには

- [表示]-[ツールバー]コマンドを選択します。
[ツールバー]コマンドは、クリックするたびに、オンとオフが切り替わります。メニュー名の左にチェックマークが付いている場合が選択状態で、ツールバーが表示されます。



ステータスバーの表示を設定するには

- [表示]-[ステータス]コマンドを選択します。
[ステータス]コマンドは、クリックするたびに、オンとオフが切り替わります。メニュー名の左にチェックマークが付いている場合が選択状態で、ステータスバーが表示されます。

画像の表示状態の指定

ズームや再表示など、画像の表示状態を指定します。





画像を再表示するには

- [表示]-[再表示]コマンドを選択します。
画像が再表示されます。



画像をズーム表示するには


1. 次のいずれかの操作を行います。
 - [表示]-[ズーム]コマンドを選択します。
 - ツールバーの  をクリックします。
カーソルが  に変わります。
2. ズームしたいエリアをドラッグして指定します。
ドラッグしたエリアが拡大表示されます。



Ctrlキーを押しながらクリックすると、縮小表示されます。



画像の全体を表示するには



- 次のいずれかの操作を行います。
 - [表示]-[全体表示]コマンドを選択します。
 - ツールバーの  をクリックします。
オーバービューウィンドウの大きさに合わせ、画像が表示されます。

表示位置の指定

画像の表示位置や、表示ページを指定します。





画像をスクロールするには

1. 次のいずれかの操作を行います。
 - [表示]-[スクロール]コマンドを選択します。
 - ツールバーの  をクリックします。カーソルが  になります。
2. スクロール表示したいエリアまでドラッグし、希望する位置でマウスをリリースします。ドラッグした分だけスクロール表示されます。



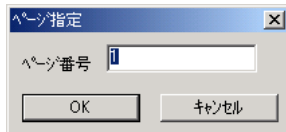
前後のページに移動するには

- 次のいずれかの操作を行います。
 - [表示]-[前ページへ]または[次ページへ]コマンドを選択します。
 - ウィンドウ下部の  または  をクリックします。表示ページが更新されます。



ページを指定して移動するには


1. [表示]-[ページ指定]コマンドを選択します。
〈ページ指定〉ダイアログボックスが表示されます。

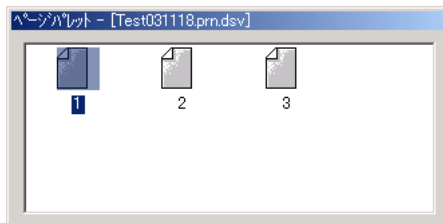


2. 〈ページ番号〉に移動するページ番号を入力し、〈OK〉をクリックします。
表示ページが更新されます。




ページパレットを使用して移動するには

1. 次のいずれかの操作を行います。
 - [表示]-[ページパレット]コマンドを選択します。
 - ツールバーの  をクリックします。〈ページ〉パレットが表示されます。



2. 表示するページ番号のアイコンをクリックします。
表示ページが更新されます。

メモ

〈ページ〉パレットを閉じるには、[表示]-[ページパレット]コマンドを選択するか、ツールバーのをクリックします。

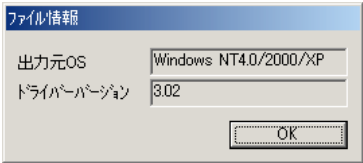
ファイル情報の表示

プリンタファイルが作成された環境や、表示画像の情報を表示します。



作成時の環境を表示するには

1. [ファイル]-[ファイル情報]コマンドを選択します。
〈ファイル情報〉ダイアログボックスが表示されます。







オプション	説明
出力元OS	プリンタファイルを作成したOSのバージョンを表示します。
ドライババージョン	プリンタファイルを作成したSCREEN MultiStudioドライバのバージョンを表示します。

2. 〈OK〉をクリックします。



画像のRGB値を測定するには

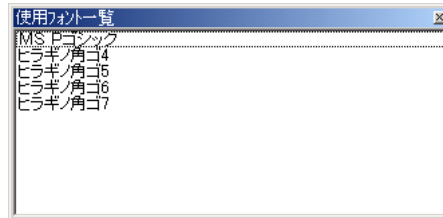
1. 次のいずれかの操作を行います。
 - [表示]-[RGB値]コマンドを選択します。
 - ツールバーのをクリックします。
カーソルがに変わります。
2. RGB値を測定する画像上をクリックします。
〈RGB値〉パレットが表示されます。〈RGB値〉パレットを閉じるには、[表示]メニューの[ズーム]または[スクロール]コマンドを選択します。あるいは、ツールバーのまたはをクリックします。

使用フォントの表示



使用フォントを表示するには

1. [表示]-[使用フォント一覧]コマンドを選択します。
〈使用フォント一覧〉ダイアログボックスが表示されます。



2. クローズボックスをクリックします。
〈使用フォント一覧〉ダイアログボックスが閉じます。



〈使用フォント一覧〉ダイアログボックスを表示している間は、他のコマンドを実行できません。

ウインドウ操作

複数のプリンタファイルを表示する場合の表示方法を指定します。



重ねて表示するには

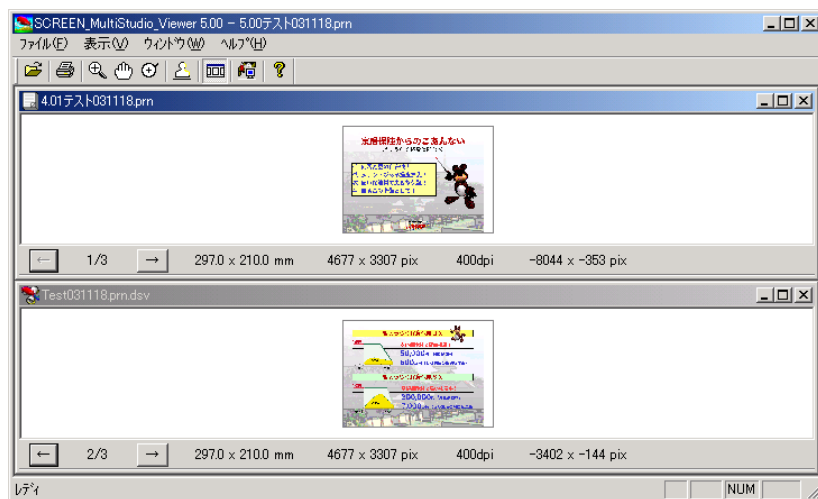
- [ウインドウ]-[重ねて表示]コマンドを選択します。
複数のウインドウが、ウインドウタイトルが見えるように重なって表示されます。






並べて表示するには

- [ウインドウ]-[並べて表示]コマンドを選択します。
複数のウインドウが、同じウインドウサイズで表示されます。



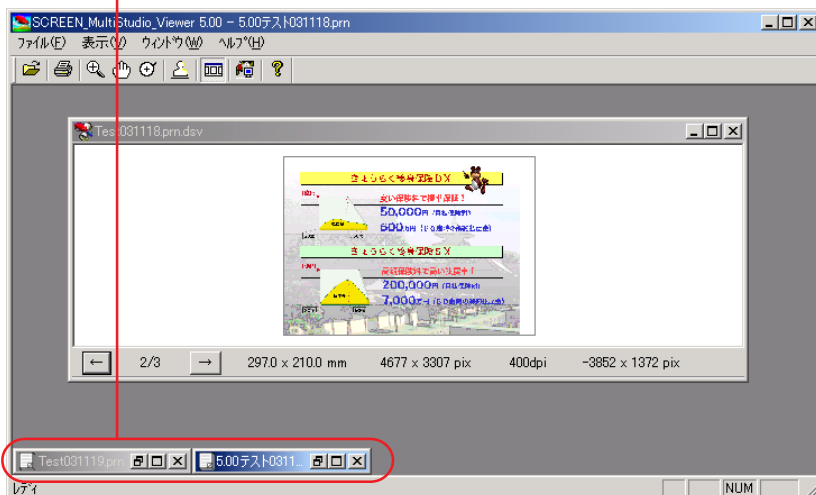
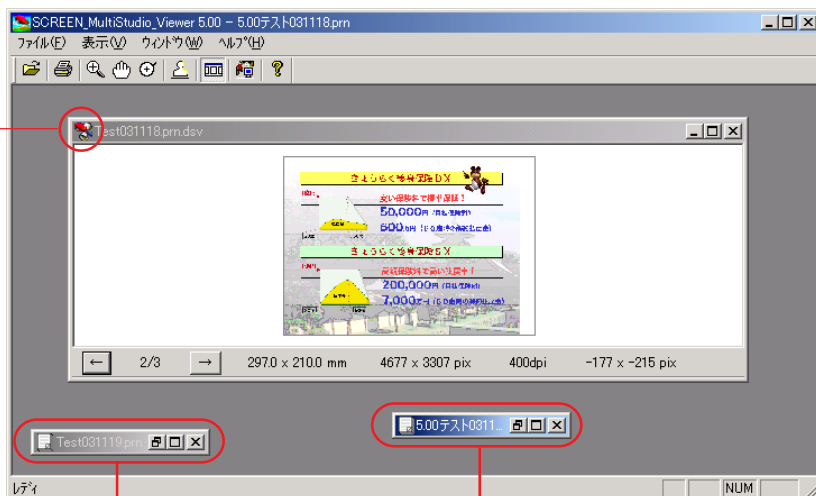


アイコンを整列するには

ウインドウ左上のドキュメントアイコンのドロップダウンメニューから[最小化]コマンドを選択し、プリンタファイルをウインドウアイコンにしているとき、ウインドウ内に散らばったアイコンを整列させます。

- [ウインドウ]-[アイコンの整列]コマンドを選択します。

ドキュメントアイコン



第 5 章

SCREEN_MultiStudio_Compress 5.00

SCREEN_MultiStudio_Compress 5.00は、SCREEN MultiStudio ドライバーから出力されたプリンタファイルの圧縮/解凍を行います。

圧縮後のファイルは解凍せずに、AVANAS MultiStudio、MultiStudio ViewerやMultiStudio Printで、通常のプリンタファイルと同様に扱えます。Ver. 2.20以前のMultiStudio ViewerやMultiStudio Printでは扱えません。

また、SCREEN_MultiStudio_Compressは、SCREEN MultiStudio ドライバパッケージ Ver. 2.20には搭載されていません。

この章の内容

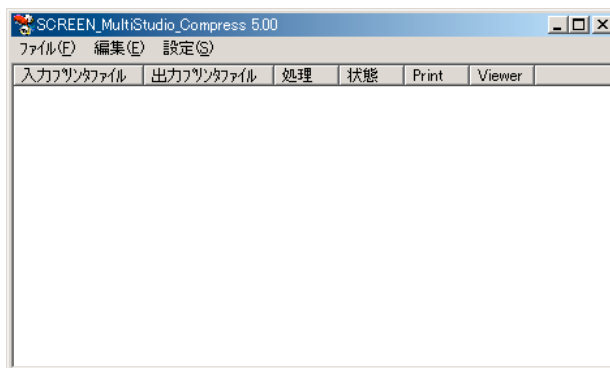
SCREEN_MultiStudio_Compress 5.00の	SCREEN_MultiStudio_Compress 5.00の
基本操作 5-2	環境設定 5-4
SCREEN_MultiStudio_Compress 5.00	プリンタファイルを圧縮または解凍する 5-6
ウインドウ 5-4	

SCREEN_MultiStudio_Compress 5.00 の基本操作



SCREEN_MultiStudio_Compress 5.00を起動するには

- [スタート]メニューから[プログラム](Windows XPの場合は[すべてのプログラム])-[SCREEN MultiStudio 5.00]-[Compress]の順に選択します。
〈SCREEN_MultiStudio_Compress 5.00〉ウインドウが表示されます。



SCREEN_MultiStudio_Compress 5.00を終了するには

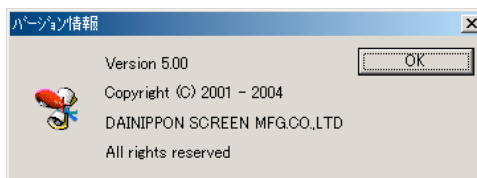
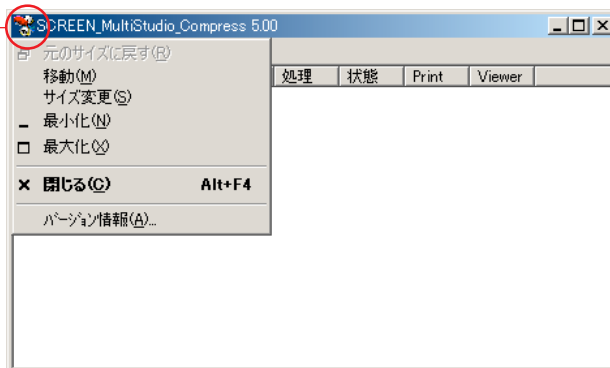
- [ファイル]-[終了]コマンドを選択します。



SCREEN_MultiStudio_Compress 5.00のバージョンを表示するには

1. SCREEN_MultiStudio_Compress 5.00を起動します。
〈SCREEN_MultiStudio_Compress 5.00〉ウインドウが表示されます。
2. ウインドウアイコンをクリックし、[バージョン情報]を選択します。
〈バージョン情報〉ダイアログボックスが表示されます。

クリックする



3. 〈OK〉をクリックします。

SCREEN_MultiStudio_Compress 5.00 ウィンドウ

〈SCREEN_MultiStudio_Compress 5.00〉ウィンドウの各部の名称と役割を以下に示します。

圧縮または解凍後の、MultiStudio Viewerの起動状態を示します。〈○〉が付いていれば、圧縮または解凍後にMultiStudio Viewerを起動します。

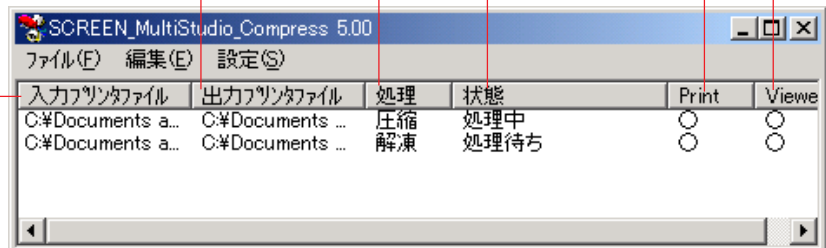
圧縮または解凍後の、MultiStudio Printの起動状態を示します。〈○〉が付いていれば、圧縮または解凍後にMultiStudio Printを起動します。

処理状態を表します。

圧縮または解凍の処理方法を表示します。

MultiStudio Compress 5.00での処理後のファイル名を、フルパスで表示します。

MultiStudio Compress 5.00での処理ファイルとして登録されているプリンタファイルを、フルパスで表示します。



SCREEN_MultiStudio_Compress 5.00 の環境設定

SCREEN_MultiStudio_Compress 5.00の環境を設定します。

設定できる環境は、以下の種類です。

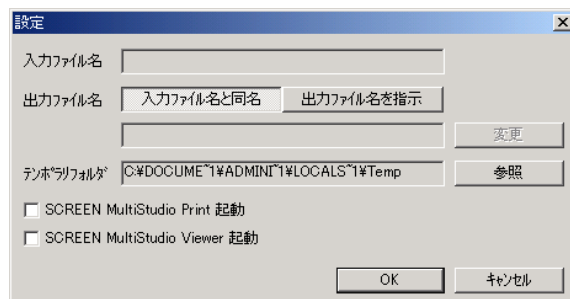
- ・処理後の出力ファイル名の付け方
- ・テンポラリフォルダの変更
- ・処理後の出力ファイル名や保存フォルダの変更
- ・MultiStudio PrintやMultiStudio Viewerの起動

これらは、プリンタファイルの読み込み前、読み込み後、いずれのタイミングでも設定できる内容に分かれます。読み込み後に設定できる内容については、「処理待ちのプリンタファイルの設定を変更するには」を参照してください。



プリンタファイルの読み込み前に環境を設定するには

1. [設定]-[設定]コマンドを選択します。
〈設定〉ダイアログボックスが表示されます。



2. 次のうち、必要な項目を設定します。
- ファイルが処理中であれば、〈入力ファイル名〉には、処理中のファイル名がフルパスで表示されます。この状態では空白表示です。

オプション	説明
出力ファイル名	圧縮または解凍処理後のファイル名のつけ方を設定します。 〈入力ファイル名と同名〉をクリックすると、圧縮または解凍後のファイルが、入力ファイルと同じフォルダに同名で保存されます。元の入力ファイルは上書きされます。 〈出力ファイル名を指示〉をクリックすると、圧縮または解凍後のファイル名を指定できます。ファイル名の指定は、読み込んだプリンタファイルのうち、処理待ちのファイルを選択した状態に有効となります。詳細は「処理中に設定を変更するには」を参照してください。
テンポラリフォルダ	SCREEN_MultiStudio_Compress 5.00の、ファイル処理用テンポラリフォルダを設定します。。デフォルトは、システムのテンポラリフォルダですが、〈参照〉をクリックして保存先フォルダを変更できます。 Windows NTの場合は「C:\TEMP」です。 プリンタファイルの読み込み後も変更できます。
SCREEN MultiStudio Print起動	チェックすると、プリンタファイルの出力完了後にMultiStudio Printが起動し、MultiStudio Printにプリンタファイルが登録されます。プリンタファイルの読み込み後も変更できます。MultiStudio Printの詳細は、「第3章 SCREEN_MultiStudio_Print 5.00」を参照してください。
SCREEN MultiStudio Viewer起動	チェックすると、プリンタファイルの出力完了後にMultiStudio Viewerが起動し、出力したファイルを表示します。プリンタファイルの読み込み後も変更できます。MultiStudio Viewerの詳細は、「第4章 SCREEN_MultiStudio_Viewer 5.00」を参照してください。

3. 〈OK〉をクリックします。

プリンタファイルを圧縮または解凍する

プリンタファイルを圧縮、または圧縮されているプリンタファイルを解凍します。複数のプリンタファイルを読み込んでいる場合は、処理待ちのプリンタファイルを対象に、処理内容を変更できます。

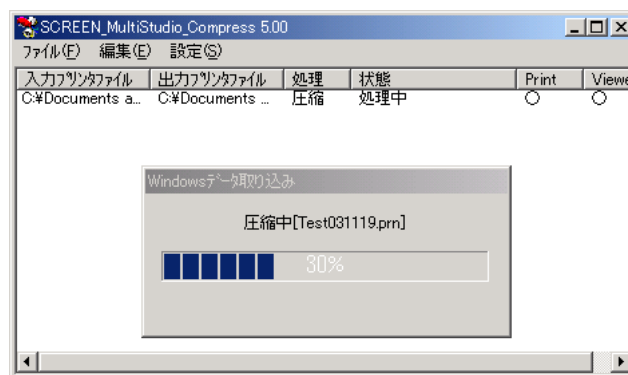


読み込んだファイル名と同名で圧縮または解凍するには

1. [設定]-[設定]コマンドを選択し、〈設定〉ダイアログボックスで〈入力ファイル名と同名〉を指定します。
2. 次のいずれかの操作を行います。

- [ファイル]-[開く]コマンドを選択します。
- 表示エリアにプリンタファイルをドラッグします。

〈Windowsデータ取り込み〉ダイアログボックスが表示され、処理が始まります。処理が完了すると、〈Windows取り込み〉ダイアログボックスが閉じられると共に、表示エリアが空白表示となります。



× モ

プリンタファイルの処理は1ファイルずつ行われます。複数のプリンタファイルを読み込んだ場合は、リストの上から順に処理され、2番目以降のファイルは、処理待ちとなります。



注意

- ・ MultiStudio PrintおよびMultiStudio Viewerの起動設定は、処理待ちのプリンタファイルに関しては設定できます。処理中のプリンタファイルに関しては変更できません。
- ・ 処理を途中でキャンセルすることはできません。処理待ちのプリンタファイルは、読み込み情報をリストから削除し、処理を取り消すことができます。読み込み情報の取り消しは「読み込んだプリンタファイルを削除するには」を参照してください。



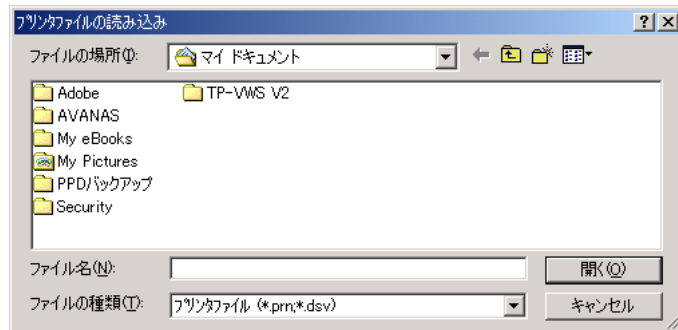
ファイル名を指定して圧縮または解凍するには

1. [設定]-[設定]コマンドを選択し、〈設定〉ダイアログボックスで〈出力ファイル名を指示〉を指定します。
2. 次のいずれかの操作を行います。

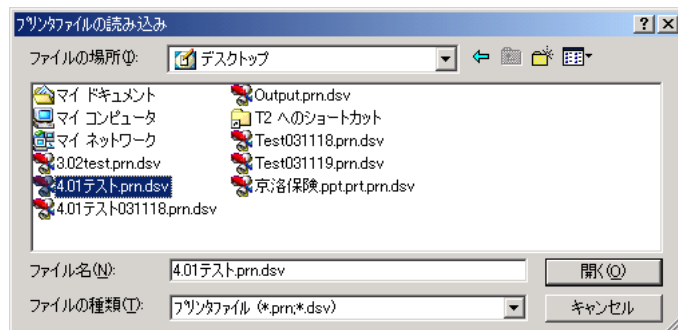
■ [ファイル]-[開く]コマンドを選択します。

■ 表示エリアにプリンタファイルをドラッグします。

〈プリンタファイルの読み込み〉ダイアログボックスが表示されます。表示エリアにプリンタファイルをドラッグした場合、ダイアログボックスは表示されず、手順4に進みます。



3. 圧縮または解凍するプリンタファイルを選択し、〈開く〉をクリックします。
〈プリンタファイルの保存〉ダイアログボックスが表示されます。



4. 必要であれば〈保存する場所〉と〈ファイル名〉を変更し、〈保存〉をクリックします。
〈Windowsデータ取り込み〉ダイアログボックスが表示され、圧縮または解凍が始まります。
〈Windowsデータ取り込み〉ダイアログボックスには、処理の進捗状況が表示されます。

メモ

処理中もプリンタファイルを読み込めます。

注意

- ・ MultiStudio PrintおよびMultiStudio Viewerの起動設定は、処理待ちのプリンタファイルに関しては設定できます。処理中のプリンタファイルに関しては変更できません。
- ・ 処理を途中でキャンセルすることはできません。処理待ちのプリンタファイルは、読み込み情報をリストから削除し、処理を取り消すことができます。読み込み情報の取り消しは「読み込んだプリンタファイルを削除するには」を参照してください。



読み込んだプリンタファイルを削除するには

リストから削除できるのは、複数のプリンタファイル読み込み後、処理待ち状態となっているプリンタファイルのみです。処理中のプリンタファイルは、リストからは削除できません。

1. 〈状態〉に〈処理待ち〉と表示されているプリンタファイルを選択します。



- ・すべてのプリンタファイルを選択する場合は、[編集]-[全て選択]コマンドを選択します。このとき、処理中のファイルも選択されます。
- ・選択を取り消すには、[編集]-[全ての選択を解除]コマンドを選択します。

2. [編集]-[情報の削除]コマンドを選択します。

リストからプリンタファイルが削除されます。



手順1で[編集]-[全て選択]コマンドを選択して、処理中のプリンタファイルが含まれている場合は、「処理中の情報は削除出来ません」というメッセージが表示され、削除処理が中断されます。〈OK〉をクリックすると、処理中のプリンタファイルは処理が進行され、処理待ちのプリンタファイルの情報のみ削除されます。



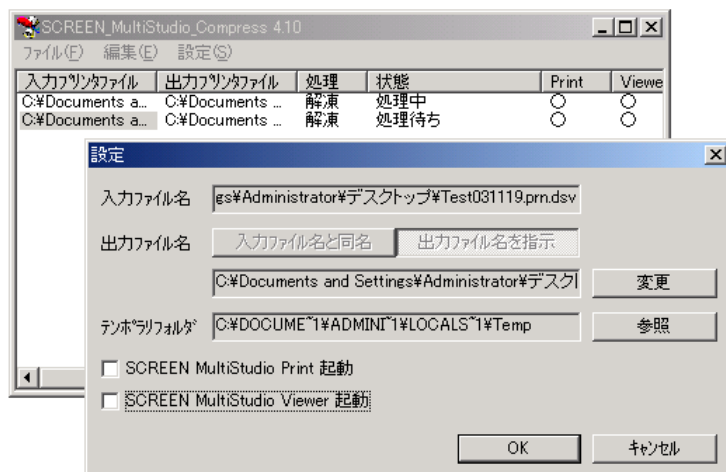
処理待ちのプリンタファイルの設定を変更するには

設定を変更できるのは、複数のプリンタファイル読み込み後、処理待ち状態となっているプリンタファイルのみです。設定変更は、一度に1ファイルずつ行います。複数のファイルを対称に変更することはできません。また、処理中のプリンタファイルの設定は変更できません。

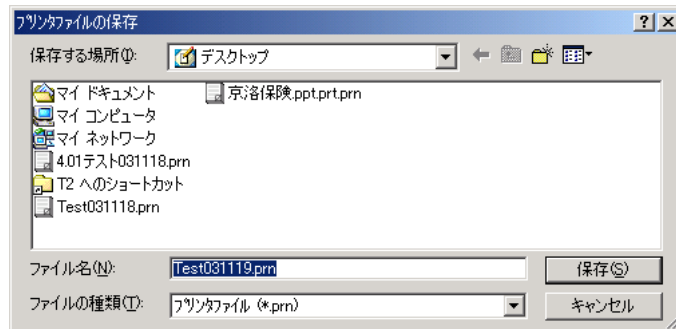
1. 〈状態〉に〈処理待ち〉と表示されているプリンタファイルを選択します。

2. [設定]-[設定]コマンドを選択します。

〈設定〉ダイアログボックスが表示されます。



3. 次のうち、必要な項目を設定します。
〈テンポラリフォルダ〉〈SCREEN MultiStudio Print起動〉〈SCREEN MultiStudio Viewer〉
については、「プリンタファイルの読み込み前に環境を設定するには」を参照してください。
〈入力ファイル名〉〈出力ファイル名〉は変更できません。
4. 必要であれば〈変更〉をクリックし、処理後ファイルの保存フォルダを変更します。
〈プリンタファイルの保存〉ダイアログボックスが表示されます。



5. 〈保存する場所〉と〈ファイル名〉を変更し、〈保存〉をクリックします。
〈設定〉ダイアログボックスに戻ります。
 6. 〈OK〉をクリックします。
〈Windowsデータ取り込み〉ダイアログボックスが表示され、圧縮または解凍が再開されます。
〈Windowsデータ取り込み〉ダイアログボックスには、処理の進捗状況が表示されます。
- メモ** 〈設定〉ダイアログボックスが表示されている間は、処理待ちのファイルに対する処理は中断されます。
〈設定〉ダイアログボックスで〈OK〉をクリックすると、処理が再開されます。

第 6 章

SCREEN MultiStudio 用紙設定

SCREEN MultiStudio用紙設定は、SCREEN MultiStudioドライバーを使用してプリンタファイルを出力する際に必要となる、用紙サイズを設定します。設定内容は、以下の3種類です。

- 使用する用紙の登録と解除
- カスタム用紙の登録と削除
- カスタム用紙情報のバックアップとリストア

この章の内容

SCREEN MultiStudio用紙設定の基本操作	6-2
使用する用紙の登録と解除	6-5
カスタム用紙の登録と削除	6-5
カスタム用紙情報のバックアップとリストア	6-6

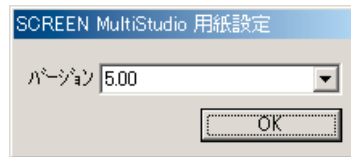
Windows NT 4.0/2000/XP用の操作上の注意点 ..	6-7
ユーザー権限と可能な操作	6-7
デフォルト用紙	6-7

SCREEN MultiStudio 用紙設定の基本操作



SCREEN MultiStudio用紙設定を使用するには

1. [スタート]メニューから[プログラム](Windows XPの場合は[すべてのプログラム])-[SCREEN MultiStudio 5.00]-[用紙設定]の順に選択し、SCREEN MultiStudio用紙設定を起動します。
以下のダイアログボックスが表示されます。



2. 用紙設定の対象となるSCREEN MultiStudioドライバーのバージョンを選択し、〈OK〉をクリックします。



3. 表示される以下のダイアログボックスで、必要な項目を設定します。

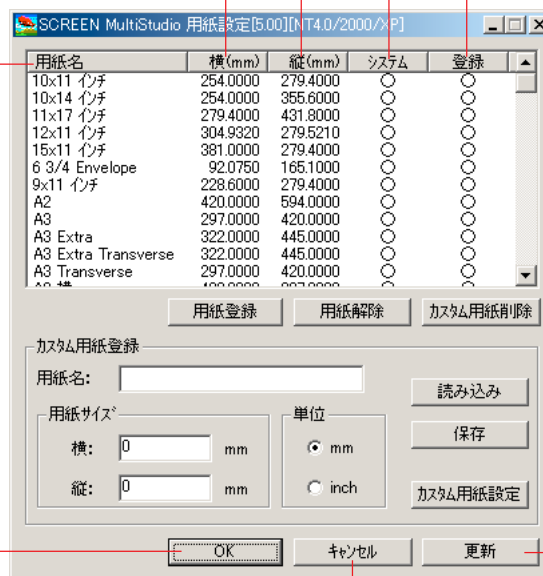
用紙の横／縦幅がmmまたはinch単位で表示されます。
単位は〈カスタム用紙登録〉の〈単位〉で決定されます。

用紙名が表示されます。〈用紙名〉
をクリックすると、表示されてい
る用紙名をすべて選択します。

〈○〉はOSにあらかじめ登録されている用紙を表し、
〈ー〉はユーザーが登録したカスタム用紙を表します。

〈○〉はSCREEN MultiStudioド
ライバーに登録済みの用紙を表
し、〈ー〉はSCREEN
MultiStudioドライバーに登録
されていない用紙を表します。

用紙情報リスト
OSに登録されているすべての
用紙情報が表示されます。



設定した内容を登録して、ダイア
ログボックスを閉じます。

設定した内容を登録せず、ダイアロ
グボックスを閉じます。

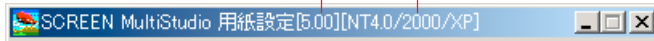
設定した内容を登録します。ダイ
アログボックスは表示されたまま
なので、作業を継続できます。

4. 必要なボタンをクリックし、〈更新〉または〈OK〉をクリックします。
ダイアログボックスが閉じ、SCREEN MultiStudio用紙設定が終了します。
ボタンについての詳細は、以降の説明を参照してください。

メモ

タイトル部分には、処理対象のSCREEN MultiStudioドライバーおよび使用中のOSのバージョンが表示されています。

処理対象のSCREEN MultiStudioドライバーのバージョンを示します。 使用中のOSのバージョンを示します。

**注意**

- ・ SCREEN MultiStudio用紙設定で設定・変更した内容は、〈更新〉または〈OK〉をクリックしたのち、プリンタのプロパティダイアログボックスに反映されます。〈キャンセル〉をクリックすると、設定内容は反映されません。
- ・ プリンタのプロパティダイアログボックスを開いたままの状態では、SCREEN MultiStudio用紙設定での設定結果が反映されません。この場合は、プリンタのプロパティダイアログボックスをいったん閉じてください。再度開くと、設定内容が反映されます。



SCREEN MultiStudio用紙設定のバージョンを確認するには

1. SCREEN MultiStudio用紙設定を起動します。
〈SCREEN MultiStudio用紙設定〉ダイアログボックスが表示されます。
2. ウィンドウアイコンをクリックし、[SCREEN MultiStudio用紙設定のバージョン情報]を選択します。
〈SCREEN MultiStudio用紙設定バージョン情報〉ダイアログボックスが表示されます。

クリックする



3. 〈OK〉をクリックします。

使用する用紙の登録と解除

使用する用紙を登録または解除します。



使用する用紙を登録するには

1. SCREEN MultiStudio用紙設定を起動します。
2. 用紙設定の対象となるSCREEN MultiStudioドライバーのバージョンを選択し、〈OK〉をクリックします。
3. 〈用紙情報リスト〉で登録する用紙名を選択し、〈用紙登録〉をクリックします。
〈登録〉に〈○〉が表示されます。
4. 〈更新〉または〈OK〉をクリックします。



登録されている用紙を解除するには

1. SCREEN MultiStudio用紙設定を起動します。
2. 用紙設定の対象となるSCREEN MultiStudioドライバーのバージョンを選択し、〈OK〉をクリックします。
3. 〈用紙情報リスト〉で登録を解除する用紙名を選択し、〈用紙解除〉をクリックします。
〈登録〉に〈ー〉が表示されます。
4. 〈更新〉または〈OK〉をクリックします。

カスタム用紙の登録と削除



カスタム用紙を登録するには

1. SCREEN MultiStudio用紙設定を起動します。
2. 用紙設定の対象となるSCREEN MultiStudioドライバーのバージョンを選択し、〈OK〉をクリックします。
3. 〈カスタム用紙登録〉内の以下を入力、設定します。

半角31文字以下で、登録する用紙名を入力します。漢字とスペースは使用できませんが、“は使用できません”。

mmまたはinchで、登録する用紙の横と縦のサイズを入力します。単位は、右側の〈単位〉の設定で決定します。

mmまたはinchの何れかを選択し、使用単位を指定します。

4. 〈カスタム用紙設定〉をクリックします。
〈登録〉に〈○〉が表示されます。〈システム〉は〈ー〉の表示です。



同名の用紙がすでに存在する場合は、エラーになります。

5. 〈更新〉または〈OK〉をクリックします。



カスタム用紙を削除するには

1. SCREEN MultiStudio用紙設定を起動します。
2. 用紙設定の対象となるSCREEN MultiStudioドライバーのバージョンを選択し、〈OK〉をクリックします。
3. 〈用紙情報リスト〉から削除する用紙名を選択し、〈カスタム用紙削除〉をクリックします。
〈用紙情報リスト〉から用紙名が削除されます。
4. 〈更新〉または〈OK〉をクリックします。

注意

Windows NT 4.0/2000/XP用のSCREEN MultiStudio用紙設定では、管理者の権限を持つ「Administrator」でログオンした場合のみ、〈カスタム用紙削除〉のボタンが有効となります。Administrator以外のユーザー名でログオンした場合は使用できません。詳細は本章「Windows NT 4.0/2000/XP用の操作上の注意点」を参照してください。

カスタム用紙情報のバックアップとリストア

登録したカスタム用紙の情報をバックアップ、またはリストアします。
バックアップしたカスタム用紙の情報は、SCREEN MultiStudioドライバーパッケージのアップデートや再インストール時にリストアして使用します。



カスタム用紙情報をバックアップするには

1. SCREEN MultiStudio用紙設定を起動します。
2. 用紙設定の対象となるSCREEN MultiStudioドライバーのバージョンを選択し、〈OK〉をクリックします。
3. 〈保存〉をクリックします。
〈ファイル名をつけて保存〉ダイアログボックスが表示されます。
4. 〈保存する場所〉と〈ファイル名〉を入力し、〈保存〉をクリックします。
バックアップファイルの拡張子は「.dsf」です。



カスタム用紙情報をリストアするには

1. SCREEN MultiStudio用紙設定を起動します。
2. 用紙設定の対象となるSCREEN MultiStudioドライバーのバージョンを選択し、〈OK〉をクリックします。
3. 〈読み込み〉をクリックします。
〈ファイルを開く〉ダイアログボックスが表示されます。
4. 〈ファイルの場所〉と〈ファイル名〉を入力し、〈開く〉をクリックします。
バックアップファイルの拡張子は「.dsf」です。

Windows NT 4.0/2000/XP 用の操作上の注意点

ユーザー権限と可能な操作

SCREEN MultiStudio用紙設定NT 4.0/2000/XP用では、管理者の権限を持つAdministratorでログオンした場合のみ、すべての設定作業が可能となります。Administrator以外のユーザー名でログオンした場合は、カスタム用紙削除ができません。
ユーザー権限と動作条件は以下のとおりです。

● 動作条件(ユーザーグループ)

Administrator	コンピュータ／ドメインを完全に管理できます。
Backup Operators	ファイルセキュリティを無視してファイルをバックアップできます。
Guests	コンピュータ／ドメインにゲストとしてアクセスできます。
Power Users	ディレクトリとプリンタを共有できます。
Replicator	ドメイン内のファイル複製をサポートします。
Users	一般のユーザーです。

×モ

AVANAS MultiStudioで使用するユーザー名「avanas」は、Power Usersに属します。

- ユーザーグループごとに設定可能な作業
- ユーザーグループごとに、〈SCREEN MultiStudio用紙設定〉ダイアログボックスで使用できるボタンが、以下のように異なります。

	〈読み込み〉 ボタン	〈保存〉 ボタン	〈カスタム用紙設定〉 ボタン	〈カスタム用紙削除〉 ボタン	〈用紙登録〉 ボタン
Administrator	○	○	○	○	○
Backup Operators	×	×	×	×	○
Guests	×	×	×	×	○
Power Users	○	×	○	○	○
Replicator	×	×	×	×	○
Users	×	×	×	×	○

デフォルト用紙

A4はデフォルトで設定されている用紙サイズです。用紙登録の解除は行えません。

SCREEN MultiStudio
ドライバパッケージ Ver. 5.00

ユーザーズマニュアル

管理番号：100072203V00

初版発行：2004年12月

発行：大日本スクリーン製造株式会社
メディアテクノロジーカンパニー

編集・印刷：株式会社テックコミュニケーションズ

落丁・乱丁のものはお取り替えいたします。

Printed in Japan